

## 【自由記述（小学生）】

問44 最後に、我が国において少子化が深刻化する中、出生率が向上するにはどのようなことが大切だと思われますか。ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

## 【経済的支援等に関すること】

経済支援、給食費無償化
所得の向上
子育てに関する費用減。収入の安定、増。
子供が生まれ、育てる為に必要な経済的負担の軽減、児童手当の増額、出産一時金の増額等、とにかくお金、これに尽きる。
未満児の保育料無償化。給食費の無償化。大学無償化。
教育資金の援助、無償化
子供に関する費用を無料化(給食費、学費など)。税金が下がるなどの優遇。
私立中・高・大学の学費の無料化。給食費の無料化。
高校・大学の学費無料にする
高校までは公立ならほとんどの家庭が大丈夫でしょう。問題は大学。高すぎる。ただ医療費無償化等、子供を生んでおられない人たちからも搾取した税金で恩恵をうけられるのに生まないというのは、生まなくても楽しんで生きていけるからでは？(良いのか悪いのか…)
子育ての経済的援助。子どもたちが仕事や生き方を選ぶよう、どの子も経済的な理由で選択肢が狭まることのないように支援して欲しい。経済的な不安があっても、子どもにかかることには心配のない支援があれば、向上すると思う。
金銭的な援助がもっとあれば、心にも余裕ができるので、国ががんばって育児給付金などを手厚くするべき。
減税、社会保険料減、消費税廃止、大学に係る費用減、政権交代
子育て支援金が一番だと思います。
予算規模の大幅な拡充。多くの高齢者向け予算が、数少ない子供に集中させてやっと思ふ。海外の成功事例をまねれば良いが、民主主義は多数者の方へ予算をまわすことを止めさせないと思われる。
出産祝い金を金額を増やしたところで少子化がおさまるとは思えない。お金をあげるからどんどん産みなさいと言われても実際に産んで子育てをしていく本人の立場で考えたら、出産祝い金よりも児童手当の方がありがたい。さらに言うなれば、母子、父子でも他の家族(祖父母など)がいたらその手当はもらえないことに不安を感じる。なぜなら、子育てをしていく上で祖父母が子育てをしている親に経済的に助けてくれることはないのだから。
物価の安定。毎年税金が上がるのをやめる(恒久的な減税)。手取りが少なすぎる。税金を払うために仕事してるみたい。やりたいことができない(お金の使い道が決まっている)介護にかかる莫大なお金…。うちにゆきち、しづさは溜りません…。
所得など区別せずみんな平等にすればよいと思う。収入金額が多い人は多い分ちゃんと所得税を納めているのだから、正しい判断をするべきだといつも思う。
子供が3人以上の家庭は両親の所得税免除など大胆な政策
第一子、第二子関係なく子育て支援など(お金)してほしい。育休・産休・介護休暇など勤務年数に限らずとれるようにして欲しい。
手当や補助的なものが3人目以上からがほとんどだが、1、2人でも少しは色をつけるくらいはあってもいいと思う。不公平さがある。2人は何もないなんて不愉快だ。
安心して出産、子育てが出来る環境と2人目、3人目…と産んでも不安の無い経済力のサポートがあれば、出生率の急激な低下は避けられるのでは？と思います。
・大学進学までの完全無償化。・出産一時金の金額及び祝い金の増額(1000万円支給)。・一夫一婦制の廃止(日本国憲法改正)。・自治体の指定ごみ袋の無償支給。・児童手当の金額を増額又は地域のプレミアム商品券の毎月支給(子育て世帯に限る)。・子育て世帯への住民税免除。・子育て世代(0~18歳)の社会保険の保証を無償で受けることができる制度。
鳥取(湯梨浜)はお子さんが多い(出生率)のですごいなあとと思います。出産(3人目)の手当てなどとても助かりました。

小・中学校の給食費無償。教科書代の補助。児童扶養手当（ひとり親）の所得制限の廃止。離婚して、養育費ももらっておらず祖父母と同居なので児童扶養手当はもらえません。なので週7で働いています。今は小学生なので、まだよいのですが、中学・高校と進学し、上の子も高2で、今後の教育費（制服等の必要な物含む）の不安が大きくてたまりません。
子育て世代の補助金だけでなく、社会全体の経済的支援。物価の値上がりを止めてほしい。給料が全く上がらず、子を育てようと思うようがない。
1つはストレス社会でもあると思う。うまく会社の理解も必要ですが、なかなか周りに頼れない保護者が多いんじゃないですか？そんな人たちを見て自分も子供を作ろうとは思いません。休みづらさもあるし。補助金も各自治体で出たり出なかったり。私の知る限り湯梨浜はそういう制度少ないと思う。給食費などせめて免除にしてほしい。一時的では生活ができる人が少なくなるばかりです。
職場の制度活用の柔軟性、国からの経済支援、給料アップ、両親の時間的にも経済的にも余裕がない
出生後の支援に目が行きがちですが、前の支援が大事だと思います。物価はどんどん上がって行きますが、ほとんど上がらない給与（税金だけは増えていく）では、出産だけでなく、結婚も難しいのかもしれない。
鳥取県は賃金が安いので子育てするうえでの生活が苦しいです。子供は国の宝だと思いますが、実際自分がやはりとても苦労があったので…
出産に対してというより、その後の長い子育てに対しての継続的な支援が必要だと思います。物価高など夫婦での生活も苦しいのに、子供との生活には不安しかないと思います。日々の生活が苦しいのに、子供の進学資金や自分達の老後の資金の事まで頭は回りません。子育て世帯など、住民税など税金は安くなりませんか。ひとり親じゃなくても苦しいです。もっと自治体でやりようはあると思います。
子供が小さい時の支援は充実しているが、大きくなった時の支援に不十分さを感じる。経済面もとても負担がある。教育にとってもお金がかかる。
子供が大学になった時に、お金の心配がある。その後の、社会保障制度にも不安が現在でもある中なので、子育てだけに焦点をあてるのではなく、今の社会保障制度も充実させてほしい。
1人生まれる毎に1000万支給する。 ひろゆきさんがおっしゃっておられましたよ。
夫婦共働きでないと生活ができないということは、女性が妊娠出産で仕事を休むことになれば生活が出来なくなるということです。経済面での支援が大切に思います。
経済的に不安がある。物価も上がっているのだから、生活がやっていけるか。有休もすべてなくなってしまふ。子どもが小さい間、仕事を休んでも経済的な支援が欲しい。子どもを安心して育てられる環境が欲しい。女性の社会進出、多様化、子どもを産み育てるだけが女性の幸せでなくなっていると思います。

### 【就労と子育ての両立等に関すること】

子どもは産んでからが大変です。育てるためには働かなくてははいけません。子どもとの時間もなかなかとれず、世の母は葛藤しながら毎日過ごしています。安心して産み育てられる環境が必要です。
母親の社会復帰がしやすいこと。
女性の働きやすい職場づくり（本当の意味での）。在宅ワーク。フレックス制。福利厚生充実などの職場を増やす（田舎なのか、働きやすい職場が少なすぎる）。
働きやすい職場環境だと思います。育休などはもちろんですが、復帰しても急な事（子の病気、行事など）で休む事が罪悪感を持たせない思わせない職場環境がとても大事！育児と家庭を両立しやすい社会を望みます。
ワンオペはきついで夫婦が休みを合わせる努力をする。
出産育児でキャリアが中断しても、戻れる安心感
賃金を上げ、労働時間を短くする。子育て世代だけでなく全体的にもっと休暇を取りやすくするシステム作り。

### 【妊娠期の支援等に関すること】

産前産後の支援の充実（金銭面も、人の支援も）
出産費の軽減、産後の支援施設の確保 託児、病児保育など。妊産婦の不安感への対応。
不妊治療助成金の年齢制限の撤廃

## 【子どもをめぐる環境等に関すること】

湯梨浜…鳥取県では他の県に比べて子育てに協力的ではない。私が他県から来たものなので、とてもそう感じます。もっと手厚くサポートして頂きたい！
子育て環境の充実
若い世代に子育ての大変さよりも楽しさややりがいなどが伝わるのが大切だと思います。また、もちろん子育て世帯への経済的な支援や子育てにお金がかからない環境整備が必要だと考えます。収入がある程度ある世帯にも支援がないと不公平感があり、子どもを持たない選択をする方があるかもしれないとも考えます。
保育士さんや先生が増えて安心して子育てできる環境。小児科の充実(簡単に受診できない不安)
子育てが楽しく、経済的精神的負担を感じないような施策を国レベルで行ってほしい。
子育て世帯への支援、お金だけでなく、地域の方との関わり、理解もほしいです。こども園、小学校でも、交流イベントなどをして、知り合いを増やして地域の方と仲良くなってもらえたらうれしい。 3人は産んで欲しい気持ちは分かるけど、1人目からもうちょっと手厚くてもいいかなって思う。3人欲しいよ？でも1人でも2人でもギリギリですよって話。

## 【その他】

核家族ゆえの苦労や困りごとの解消が必要。安心できるベビーシッターや家事支援など家族以外の力を借りることができたら子も親も余裕ができると思う。全額負担ではなく公的支援の一つで安価(ただではない)のでいいと思う。男性・女性お互いにお互いの身体の仕組みや脳の作りの違いを知らない故にすれちがうと思う。理論的な男性と共感の欲しい女性のように。女性の生理・妊娠・出産・産後うつなどもしっかり教える必要があると思う。今の大人でも知らない分からない知ろうとしない人が多くいる。
心が豊かになること
特に仕事をしてない政治家をやめさせて、その分の人件費を子育てに関することにまわして欲しい。
親が家庭だけで子育ての問題を抱え込まなくていい環境ができればよいと思う。経済的な面や仕事の面、精神的な面等全てを含めて。
個々のライフスタイルがあるので、少子化問題も大切ではあるが、出生率をあげるためにという発想はいかに。人々それぞれ、色々な思いはある。不妊で苦しんで悩んでいる人もいる。現実、その方々がいるなかで出生率、少子化といわれても…とは思っている。その方々の支援ももっと大きくしてもいいかとは思っている。
特にありません。政治家の裏金問題を今後ないようにして頂き、その分国民に還元してほしいです。
他の県が行っているいいと思うものはどんどん取り入れてほしい。
税金減らす。今が取りすぎ、計算したら総額の半分は税金に消えている。生活できない。老後生きられない。先の事を考えれば考えるほど増やせないと思う。私の周りの多産家庭は4件知っているが、みな子供が半分は発達障害。親もそういう特性だから何も考えず沢山産んでるんだろうなと思っている。産後が辛すぎ。子供との関わり方が分からない。支援先に繋がりにくいどころか何処にあるか分からない。個人差大きいけど、もう一人頑張ろうとは複数の理由でならなかった。政策も国民の事考えていないようなものばかり、他人に冷たい国民性、日本で産まなければよかった。
個人的に…子どもは必ず病気をします。何日も休みます。親も休まないといけません、有給はすぐに無くなり、欠勤になると給料はその分がなくなります。社会保障制度で、何か対策作れますか？子の数に応じた対策とれますか？子ども沢山産みましたが、直接的に良い対策だと感じる何かを早く作ってほしいです。私たちは、夫婦の給料のみで生活していて、実家の支援はないです。親なので責任をもってやっていますが、子どもの体調不良が続くと本当大変です。
親のやりたいこと(仕事や趣味など)が、子どもの有無に関わらず、やることのできる環境を整えることが大切。
大学で県外に出てしまったら、かなりのメリットがないと戻って来ない。特に賃金は、若い人たちには安易に比較しやすい数字なので、低賃金の事業所が多い鳥取県には帰ってこないし、大学進学を含めた子育てにお金のかからない支援などがないと複数の子どもを持ちたいなど思わないのではないのでしょうか。湯梨浜町は子育てしやすい環境があると思うので、若い世代にど〜んとお金を使ってほしいと思います。
自治体の子育て支援の充実による周辺自治体間での人口の取り合いでは、国レベルの人口減少問題を根本的に解決できないと考えます。子どもの教育費等、将来的な金銭面での負担が出生率が伸び悩む一因であるため、国が率先して子育て支援策を拡充することが必要と考えます(猶予はありません)。

子育て世帯の親が働きやすい環境づくり、子育て世帯の経済的な支援がもっと充実、子育て世帯の休日の確保、夜間、休日の医療体制の充実(小児こども救急ダイヤルでも曖昧な答えが多く不安が募るため。また厚生病院などの大きな病院にかかる待ち時間が非常に長く負担が大きい)。子供の小学校などで使う物品を安価なもので賄えるようにしてほしい。小学校や保育園でビニール袋やマスクなど、集金されてもいいので使えるようにしてほしい(持っていく準備の負担を少しでも減らしたい)。子どもたちが食べるものに困らないように食料支援をしてほしい。親の分はいいので、子どもたちに食料が確実に行き渡るような方法を検討してほしい。インフルエンザなど全てのワクチンの公費負担にしてほしい。10歳未満の子供を養育する両親に週休3日制にしてほしい(子どもがいないところでの休日がないと親の心身ともに負担がとても多いため)。ゴミ袋、水道光熱費にかかる費用負担を子育て世帯は減らして欲しい。親世代だけでなく祖父母世帯で子育てに協力がある世帯の経済的な負担軽減(共に協力して子育てがもっとしやすくなるように、経済的負担が減ればもっと協力してもらえるのではと思います。)

- ・経済面での確立できていない若年層の産後の働き方。
- ・子どもの発熱時、申し訳ないと後ろめたい気持ちを持たずに変えることができる精神的支援(結局は職場の業務調整ではあるが、雇用者も金銭面でギリギリの雇用になりがち。余裕を持たせた雇用が可能な企業への支援。)
- ・勤続年数が少ないと有休も少ない。介護休暇を使用してもあつという間に有休消化→欠勤→給料減の負のループ。
- ・祖父母世代も60歳過ぎても仕事がある。支援が受けづらい。